

金沢大学 理工研究域 数物科学系 教員公募

- 1.公募人員： 准教授またはテニユア・トラック助教 1名
- 2.所 属： 金沢大学理工研究域数物科学系
<https://www.se.kanazawa-u.ac.jp/mathphys/>
- 3.専門分野： 関数方程式論および関連する解析学
採用後は研究グループ【数学・数理科学連携研究グループ】「新たな数理科学研究の創出」に所属し、その重点強化分野（理論データサイエンス・応用数論）の研究・教育に携わることが求められます。
- 4.教育担当： 共通教育科目、理工学域数物科学類および大学院自然科学研究科数物科学専攻の数学関連授業科目、数学プログラム・コースの学類生・大学院生の研究指導。なお、英語による授業を担当していただく場合があります。
- 5.勤務形態： 准教授：常勤、任期なし
テニユア・トラック助教：常勤、任期は原則5年
テニユア付与の可否については、任期満了前の所定の時期に研究・教育実績に関する学内審査を行います。学内審査の結果に応じて、任期満了後に、テニユア准教授への昇任又はテニユア助教への移行が可能です。テニユア審査において、テニユア・トラック期間を延長することが認められた場合（最長3年間）は、延長後の期間の最終年次に再度審査を実施します。本学テニユア・トラック制度の規定については、下記 URL をご覧ください。
<https://www.se.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2022/12/tenure.pdf>
※テニユア付与基準の概略
(1) 国内外で、当該分野における研究成果が特に優れていると認められること
(2) 適正に計画された研究計画が達成されていること
(3) 十分な競争的研究資金を獲得していること
(4) 学生に対する教育成果（研究指導、講義内容）が優れていると認められること
テニユア・トラック教員には、スタートアップ研究経費として初年度80万円程度を措置する予定です。
- 6.給 与： 年俸制が適用されます。
- 7.応募資格：
 - (1) 着任時に博士の学位を有している研究者
 - (2) 解析学分野で優れた研究業績を有する方
 - (3) 日本語と英語による十分なコミュニケーション能力を備えていること
- 8.着任時期： 令和6年6月1日以降できるだけ早い時期

9.提出書類：以下の(1)-(7)を PDF ファイルにして提出してください。

- (1) 履歴書（写真添付）・連絡先（電話番号、電子メールアドレスなど）・希望する職種（職位）
- (2) 研究業績リスト（研究論文、著書、口頭発表など。印刷中、投稿中のものは、それを明記下さい）
- (3) 外部資金（科研費など）の獲得状況
- (4) 主な教育実績（講義、学生指導など）と教育に対する抱負（A4 用紙 2 枚程度）
- (5) 主要論文 5 編以内
- (6) これまでの研究の概要及びこれからの研究計画（A4 用紙 2 枚程度）
- (7) 応募者の業績を評価できる方 2 名の氏名と連絡先

10.応募締切： 令和 6 年 1 月 3 1 日（水） 必着

11.書類提出先： 書類を全て PDF 化し、1 つの ZIP ファイルにまとめた上で、JREC-IN Portal
（<https://jrecin.jst.go.jp/>）の Web 応募システムを利用して提出してください。

書類の宛先：金沢大学理工研究域数物科学系長 大塚 浩史

応募を確認後、受領確認のメールをお送りします。受領確認のメールが届かない場合は、下記、問い合わせ先までご連絡ください。

12.問い合わせ先：〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学理工研究域数物科学系 木村 正人

Tel: 076-264-6064 E-mail: mkimura@se.kanazawa-u.ac.jp

13.その他：

- (1) 選考の過程で候補者を少数にしぼり面接を行う予定です。
- (2) 就業規則については下記の URL をご覧下さい。
<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>
- (3) 金沢大学では、ダイバーシティ研究教育環境の整備を推進しています。下記の URL をご覧下さい。
<https://ipdi.w3.kanazawa-u.ac.jp>
- (4) 金沢大学では、教員の英語による教授能力の向上と、英語による開講科目の増設等を前提とした英語教育の強化に取り組んでおります。下記の URL をご覧下さい。
<https://sgu.adm.kanazawa-u.ac.jp/kusgu/project.html>
- (5) 男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、理工研究域では女性研究者の積極的な応募を歓迎します。